



M.M.Honcho Newsletter

【10月号】 令和4年9月29日発行

子どもたちの成長

校長 小正 和彦

学校ホームページでも紹介していますが、9月13日(火)、資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK)で開催されました「暮らしにやさしいSDGs講座～SDGsをあなたのものにするために～」に、6年生が参加してきました。この講座は、資生堂と国連WFP協会が共同で、「SDGsを自分ゴトとして考える1日」の一環として企画されたもので、日頃から全校でSDGsに取り組んでいる本校にお声がけいただきました。まずは子どもたちにとりまして、とても貴重な機会をご提供いただきましたことに深く感謝申し上げます。とともに、企業をはじめ社会の様々な場面でSDGsをテーマに子どもたちが一緒に考え、発信できる機会が作られてきていることに嬉しく思います。



当日は、6年生から自分たちが取り組んでいるSDGsのテーマについて発表しました。ここで本当に感心したことがありました。それは、単にSDGsの17のゴールについての説明やそれに合わせた自分たちの取り組みの発表で終わるのではなく、疑問や課題について大人へ投げかけていたことです。6年生はESD/SDGsに取り組んで5年目になりますが、1年1年その活動や体験を積み重ね、単なる知識としてではなく、文字通り自分

ごととして捉えているということが表れていました。「時間があまりない中で、本当にゴールにたどり着くことができるのか。」「アップサイクルが大切なことは分かっているが、生活に役立つものでなければ、多くの人が実践してくれないのではないか。」「温暖化対策が必要であることは分かっているが、これからで間に合うのか。」「このようなやり方でゴミを実際に減らすことができるのか。」「SDGsは知っているが、押し付けられていることが嫌と感じている人がいるかもしれない。」どれも自分たちで取り組んでみたから感じたことであり、大人も明確に回答できないことも多くありました。正解があり、それに早くたどり着くというこれまでの学びから、最適解を見つけるというこれからの学びへと向かっている姿がありました。

本校が取り組んでいるESD、持続可能な社会の創り手、担い手を育てる教育は、一人一人の子ども自分づくり、未来づくりであるとともに、未来の社会づくりでもあります。誰かが考え、決めて、作った未来ではなく、自分自身が考え、選択し、作る未来であろうとする心が大切であり、そのためにも様々な学びの場面で多くの人との対話はますます重要となります。後期に入り、どの学年でも活動が進み、深まっています。自分事となったゴール(目標、ミッション)をもった主体的な活動を通して、これからの一人一人の成長が楽しみです。

本年度も前期を終えようとしています。是非ご家庭でも一緒に振り返っていただき、子どもが自分の成長を感じ、さらにその先に前向きに進むモチベーションとなるようお声がけをお願いいたします。

PTA

次期委員募集が始まっています。

- 子ども安全委員会 *マチコミ募集済み* (9月から1年間の活動)
 - 選考委員会 *今月募集開始* (10月から選考終了までの短期間)
- 選考委員会、とは「次期PTA、奨励会役員を選出するためのメンバー」です。短期間の活動で、活動日・場所・時間を委員の皆さんの都合で決めていただける、普段PTA活動で参加できない方も参加しやすい委員会となっています。ぜひ、皆さんの参加をお待ちしております！

PTA 本部(mmhoncho.pta@gmail.com)

みらい共創ネットワーク！

9月は2年遠足、5年家庭科を中心に4年校外学習や1年校外学習、絵の具学習の募集をかせさせていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

10月も家庭科サポート、1年遠足等と学校教育活動のサポートを予定しております。後期に突入いたしますが、まだまだ新規サポーター登録も受付中です。ぜひ皆さまのご参加、お待ちしております！！

代表 榎本文絵

【お試し登録メールアドレス：mubr8845@machicom.jp】